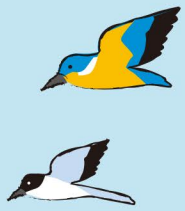


# 和泉川いきものガイド

身近にふれあえるゆたかな自然



瀬谷区役所

## いきものや緑が いっぱい!

### 鳥類



**カワセミ**  
頭が青、背は空色、顔が栗色で、鮮やかな色合いです。水辺近くの小枝などに止まり、水中に飛び込んで魚やエビをつかまえます。



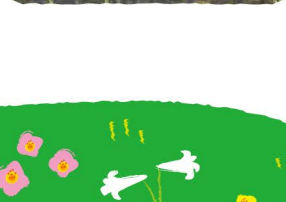
**ウグイス**  
体上面は緑がかった褐色で、尾は長めです。3月中旬から8月上旬の繁殖期に聞こえるオス鳥のさえずりが有名で、ホーホケキョと鳴きます。



**オオタカ**  
背は灰黒色、目の上に白い線があり、腹は白色に細かい灰黒色の横じまがあります。市内の生息数は少なく、希少種となっています。



**オナガ**  
尾が長く、頭部が黒いのが特徴です。キューイキューイと鳴きます。瀬谷区の鳥として制定されています。



**カルガモ**  
体の長さは約60cm、頭上は黒く、顔に2本の黒すじがあります。黒いくちばしの先が黄色くなっているのが特徴です。川辺の草地などに巣を作り、十数個の卵を産みます。



**カワセミ**  
頭が青、背は空色、顔が栗色で、鮮やかな色合いです。水辺近くの小枝などに止まり、水中に飛び込んで魚やエビをつかまえます。



**ゴイサギ**  
体の長さは約60cm、背が緑色、頭上は黒く2、3本の長く白い筋が羽が生えています。夜間に活動し、魚、カエルなどを食べます。



**コゲラ**  
頭部は灰色がかった茶色で、背と翼は、黒褐色と白の横斑模様、体下面は灰白色をしています。



**コサギ**  
羽色は全身白色、くちばしは黒色、足の先は黄色です。繁殖期になると2、3本の長い筋が羽が生えます。魚、カエル、ザリガニなどを食べます。



**ハクセキレイ**  
腹と顔は白く、背は黒で、目には黒色の線があります。長い尾を上下に振り、チーンと鳴きながら低く飛んでいます。

### 植物



**アジサイ**  
6月から7月に花を咲かせます。土の酸性度によって花色は変化し、アルカリ性だと赤っぽく、酸性だと青っぽくなどと呼ばれています。また、開花日数によって花色が変化するため「七変化」とも呼ばれています。瀬谷区の花として制定されています。



**ススキ**  
秋の開花期では高さ1.5~2m程になります。土手や護岸のすき間などの乾いた場所に生育します。カヤとも呼ばれ、かやぶき屋根や牛馬のエサなど農業にも利用されています。



**ハンゲショウ**  
夏に花を咲かせ、高さ70cm~1m程度になる多年草です。上部の葉が半分だけ白くなり、半分だけ化粧をしているように見えることからつけられた名前です。



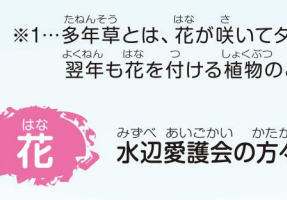
**ヒガンバナ**  
9月中旬頃から末頃に花を咲かせます。ちょうど秋のお彼岸のころに咲くことから、ヒガンバナと名付けられました。真っ赤な花が印象的です。



**ミソハギ**  
夏に花を咲かせ、目立つ紅紫色の花を多数つけます。觀賞用に栽培されることの多い、高さ1~1.5mほどの多年草です。



**ヨシ**  
夏から秋の開花期では高さ2~2.5mに達します。湿地の地中に深く根を張り、青つ大型の多年草です。



※1...多年草とは、花が咲いてタネを付けても枯れず、翌年も花を付ける植物のことです。



**アガパンサス**  
初夏に青や白の花を咲かせます。アガパンサスの名前は、ギリシャ語の「アガペ(愛)」と「アントス(花)」に由来しています。



**カンナ**  
いろいろな種類が熱帯地域に広く分布していて、それらから1000近くの花品種が作り出されています。芋のような根を分けて増やすことができます。



**バラ**  
バラと入のかかわりは3000年以上になりますが、庭などで見られるバラの多くは、19世紀になってから作り出されています。そのきっかけを作ったのは、中国と日本の野生バラでした。



※2...外来種とは、国外や国内の他の地域からつれてこられたり、やっけてきたことにより、本来の自然分布域を越えて生育または生息することとなるいきものことです。



**ユリ**  
ユリの咲き方には、3つのタイプがあります。花を横向きに咲かせ、花びらなどの先があまり反り返らないユリ。花を横向きに咲かせ、花びらなどの先が大きく反り返るユリ。花を上向きに咲かせ、花びらなどにすき間があるユリです。



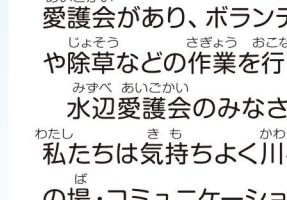
※1...多年草とは、花が咲いてタネを付けても枯れず、翌年も花を付ける植物のことです。



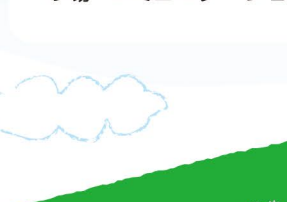
※2...外来種とは、国外や国内の他の地域からつれてこられたり、やっけてきたことにより、本来の自然分布域を越えて生育または生息することとなるいきものことです。



※3...外来種とは、国外や国内の他の地域からつれてこられたり、やっけてきたことにより、本来の自然分布域を越えて生育または生息することとなるいきものことです。



※4...外来種とは、国外や国内の他の地域からつれてこられたり、やっけてきたことにより、本来の自然分布域を越えて生育または生息することとなるいきものことです。



※5...外来種とは、国外や国内の他の地域からつれてこられたり、やっけてきたことにより、本来の自然分布域を越えて生育または生息することとなるいきものことです。

### 魚・昆虫類



**アブラハヤ**  
尾びれのつけねが細くなって、大きいものでは約10cmになります。背が黄褐色で、体の中央に黒色の縦じまがあります。繁殖期は春から夏です。きれいな水質環境で見られます。



**オイカワ**  
背が淡い褐色、脇は銀白色です。春から夏の繁殖期には、オスは赤や緑が混ざった色になります。比較的流れの速いところで見られ、和泉川でも多く見られます。



**トウヨシノボリ**  
5~8月頃、石の下に卵を産み、オスが卵を守ります。雑食性で水生昆虫や藻類などを食べます。



**ドジョウ**  
体の長さは10cm以上になります。体の色は、腹を除いて褐色で、小さな黒い斑点があります。ひげが5対あります。



**ホトケドジョウ**  
体の長さは最大で7cmで、ひげが4対あります。ドジョウに比べて体が短く、頭はまるく、色は茶色、斑点がないものと黒い斑点があるものがあります。



**モツゴ**  
体の長さは5cm以下、口が上向きについており、黒い縦じまがあります。通称クチボソと呼ばれています。



**アユ**  
口が厚く歯はくし状になっています。体の長さは10cm以上になります。体の色は背が淡褐色で、体の脇は銀色です。背の中央に淡黒色の線がはっています。



**シロタニガワカゲロウ**  
昆虫で、腹の横に葉っぱのようなえらが並んでいます。尾は長く3本あります。流れの速いところの石の上やすき間で見られます。きれいな水質環境で見られます。



**アオダイショウ**  
体の長さは110~190cm。体の色は、淡緑色で、背に薄黒い縦じまがあります。木によく登り、鳥や卵などを食べます。毒はありません。



**アキアカネ**  
体の長さは3.5~4.5cm。体の色は胸が黄色で、腹が赤色です。



**オニヤンマ**  
体の長さは9~11cmで、トンボの中では最も大きいです。色は黒に黄色のしま模様です。きれいな水質環境で見られます。



**ハグロトンボ**  
体の長さは5.5~6.5cm。羽が黒く、オスは体が金緑色です。繁殖期にはオスがなわばりを作り、草の上にとまり羽を開閉しています。



**モクズガニ**  
大きいものではこららの幅は6cm以上になります。ハサミは毛が生えています。海で生まれて川で成長し、産卵のためにまた海に下ります。



**アメリカザリガニ**  
はさみが強大で、10cm程度の体の長さと同じくらいになります。川の下よみや水際などで生活しています。



**オオキンケイギク**  
5月~7月頃に咲く、鮮やかな黄色の花を咲かせます。繁殖力が強く、在来種を脅かすなど、生態系への悪影響が大きいので、特定外来生物に指定されています。



**タモロコ**  
体の長さは約10cm、やや曲がった縦じまがあります。モツゴに似ていますが、口の下に小さなひげが1対あるのが特徴です。横浜にはもともと生息していたため国内外来種です。



**ミシシッピアカミミガメ**  
ペットショップなどで見るミドリガメです。魚から昆虫・水草まで何でも食べます。屋敷川や池の石などの上ですくすく生活しています。



※2...外来種とは、国外や国内の他の地域からつれてこられたり、やっけてきたことにより、本来の自然分布域を越えて生育または生息することとなるいきものことです。

### いきものを観察してみよう

緑がいっぱいの和泉川には多くのいきものが生息しています。水辺を歩きながらどんないきものがいるか、用具を準備して探してみよう。

#### 準備する用具

- 運動靴 (マリンシューズ)
- タモロコ
- バケツ
- 双眼鏡
- カメラ など

#### 魚の調べ方

川岸に草が生い茂っている場所など魚がいない場所を見つけて、そっとタモロコを底につけて置き、足で踏んで、驚いた魚が逃げていくのをタモロコで待ち受けます。採集した魚はビニール袋に入れて、最後に写真を撮って放しましょう。写真を撮る際に種類を調べておきましょう。

#### 鳥の調べ方

双眼鏡で見ながら観察し、種類を考えましょう。また、鳴き声も重要なので、その特徴も記録しておきましょう。

### 川にいきものを放さないで

和泉川では、もともとこの川に生息していない外来種<sup>※2</sup>が見られます。中には、育てられなくなって放してしまったり思われるものもいます。外来種は、生態系が強いものが多く、生態系を崩したり、生物の遺伝子に影響を与えたりする場合があります。昔から生息している魚たちを守るためにも、いきものがくらす環境について考えてみましょう。

【協力】  
平成25年度瀬谷コースフォーラム  
瀬谷環境ネット  
横浜市環境創造局環境科学研究所

【発行】  
横浜市瀬谷区役所区政推進課  
平成25年10月 初版  
平成27年2月 2版  
平成31年1月 3版  
横浜市瀬谷区二ツ橋町190  
TEL: 045-367-5632



# 和泉川 いきものガイド

6つの水辺や生い茂る木々など、水緑(魅力)たっぷりの和泉川とそこで出会えるいきものたちを紹介します。